

# 人権学習展開例（第2学年）



主題名 みんな 仲よし

教材名 いろんな あそび 見つけたよ

人権学習の視点 個別的な視点「女性の人権問題」

主題・教材について

低学年では、男の子だからとか女の子だからとかという意識は薄く、男女の抵抗感なく活動していることが多い。しかし、遊びや生活の中でも男女を固定した考え方が現れたりすることもある。

そこで、この時期に、休み時間に運動場で遊ぶ子どもたちの絵を教材として、自分らしさを大切に、生き生きと個性豊かに活動していくことが大切であることを感じ取らせたい。



ねらい

男女が仲良くしようとする心情を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○休み時間に、どんな遊びをしているかを思い出させる。	一斉	○休み時間に、どんな遊びをしているかを発表する。	○自分のしている遊びを自由に発表させる。	
展開	○楽しそうにサッカーをしている男の子と、その遊びに入れてほしい女の子の気持ちを考えさせる。	一斉	○資料①②の絵を見て、男の子と女の子の気持ちを考えて発表する。	○自分の体験と重ね合わせ、その時の気持ちを思い出させる。	資料 「いろんなあそびみつけたよ」 P.36
	<b>サッカーに入れてもらえない女の子の気持ちを考えよう</b>				
	○③④の絵を見て、「女の子だから」という見方で、自分の好きな遊びに入れてもらえない女の子の気持ちを考えさせる。	一斉	○③④の絵を見て、サッカーに入れてもらえない女の子の気持ちを考え、発表する。	○「女の子だから」という見方で入れてもらえないことに気付かせる。	資料 P.37
<b>男の子、女の子だけの遊びってあるのかな</b>					
	○男女仲良く遊ぶことの大切さを理解させる。	一斉	○男の子だけの遊び、女の子だけの遊びがあるのかどうかということを考え、発表する。	○具体的な遊びの例をあげて考えさせる。	
まとめ	○男女が仲良くしようとする気持ちをもたせる。	一斉	○⑤の絵を見て、男子も女子も仲良く遊んでいる場面を見付ける。	○みんなが生き生きと、楽しそうに遊んでいることに気付かせる。	資料 P.38～39

評価

男女が仲良くしようとする気持ちをもつことができたか。

